

## 1. 授業の基本情報・概要

対象授業の科目区分：特別支援教育コース

科目名：知的障害児の教育課程及び指導法

担当教員名：吉松靖文・冨田享子

登録学生数：34名

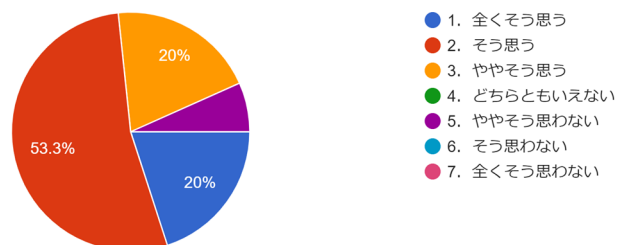
知的障害児教育の基本理念を理解し、学習指導要領や代表的な指導法について学習する授業である。

## 2. 授業評価・授業研究の内容

最終授業後に授業評価アンケートを実施した。到達目標達成の自己評価を7件法による回答とそれぞれの回答の理由の自由記述で求めた。また、授業改善のための提言を求めた

回答者数15名。回収率：44.1%。

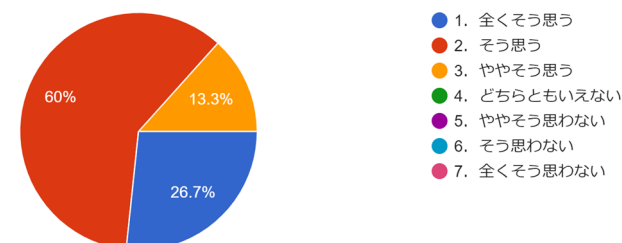
### 1. 授業に積極的に取り組むことができましたか？



上図のように1名を除くすべての回答者が肯定的評価をしていた。「全くそう思う」と答えた者では、「授業以外の自主学習も行ったから。」など授業外でも主体的・積極的に学習に取り組んでいた。一方、「ややそう思わない」と答えた者で

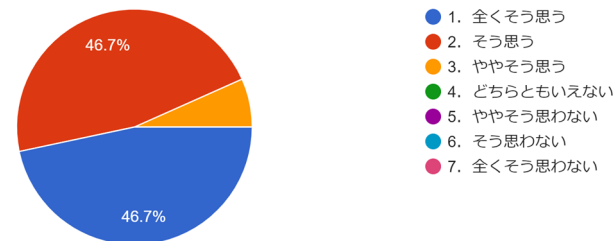
は「講義を聞いて理解できても、自分のものにまで出来なかった。」と答えていた。

### 2. 授業の内容はあなたの満足のものだったか？



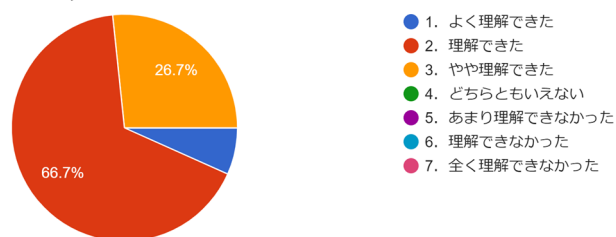
上図の通りすべての回答が肯定的評価であった。「実際の学校現場のお話をたくさん聞くことができたから。」など現場の生の話を聞いたことを理由として挙げていた者が多かった。

### 3. 授業の内容はあなたの役に立ちましたか？



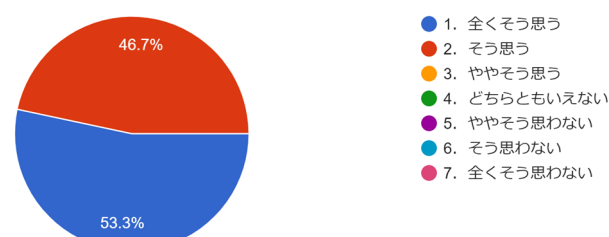
上図の通りすべての回答が肯定的評価であった。「授業の作り方、大切にすべきこと、子どもとの関わり方など今後の学習につながる学びや、実習体験で生きる考え方を学ぶことができ、きっと役に立つだろうと考えます。」など、教育実習を始め実際の教育活動に役立つという回答が多かった。

#### 4. あなたの授業の理解度はどれくらいですか？



上図の通りすべての回答者が肯定的評価をしていた。「指導要領のポイントや知的障害の教育の在り方について理解することができたから。」など、本授業の主眼である学習指導要領を具現化することに言及するなど授業の目標達成に関する評価を得ることができた。

#### 5. 教員として働くことにとって意味のある授業でしたか。



上図の通りすべての回答者が「全そう思う」ないし「そう思う」と回答していた。「将来現場に出た際に、子どもたちとどのように関わっていけば良いのかを学ぶことができたから。」「もちろん特別支援学校の教員を目指す場合にも役立てられると思います。また、知的障害児以外の障害を有する子どもや、障害を持たないとされる子どもに対する教育においても、役立てられる共通する部分はたくさんあることを学べたと思うので、たいへん意味のある授業だと思いました。」など、現場に出て役立つということだけでなく、教育の本質について言及している回答が見られた。

#### 6. 本授業をより充実したものにするためにどんな授業改善をしたらよいと思

いますか。

自由記述で必須の回答項目ではなかったが8名が回答していた。そのうち、授業改善のための提言としてはアクティブ・ラーニングの拡充に関するものが2件、授業の進行に関するものが2件、配付資料に関するものが1件、復習などの授業外学習に関するものが1件、具体的な指導法についての拡充に関するものが1件であった。3件については、このままでよいという意見であった。

#### 4. 総括

回答者のほとんどが、すべての質問項目で本授業を肯定的に評価していた。特に質問5の「5.教員として働くことにとって意味のある授業でしたか。」では、回答者の半数以上が「全くそう思う」と答えていた。本授業は、教育課程と指導法に関する授業であり、教師の仕事に直接役立つ必要があるものである点から見ると、授業の目標を達成できたと思えることができるように思う。

授業改善の在り方については、寄せられた意見を基にさらに充実を図っていきたい。